

第5回

2008サマーセミナー in八ヶ岳

『生命の不思議を探る』

～日本の食はどうなる～

■『食と農』〈楠原 征治 新潟大学 名誉教授〉

日本の食料自給率はカロリーベースで39%、先進国で最低。身の回りには不安な食材が溢れ、しかも乱れた食生活。これがこの国の「食」の惨状である。食の不安は解消できるだろうか。危機にある食の安全性確保を「食と農」に探る。

■『郷土食を見直す』〈林 邦子 郷土食研究家〉

その土地で昔から作られ食べられていたものの中に、食の安全・地産地消・日本の自給率の問題にまでつながるヒントがあるのではないかと。諏訪の伝統食（郷土食）を見直し、その新鮮なおいしさの実感を通して、これからの食の在り方を提案する。

■『農・食のあり方と健康』〈長谷川 俊郎 日本地域活力研究所 代表〉

日本人は長命になったが、多くの人が病んでいる。癌の死亡者は年々増加し、糖尿病・心疾患・認知症も増加の一途をたどっている。話は農・食を正して、生命力ある食と腸内環境の整え、およびバランスあるミネラルの摂りで、健康になれることを示す。同時に、土・農・食・医同源の重要さと、還元の良い空気と水の摂りにも触れる。

「生命科学を学ぶ会 in 原村」

「生命科学を学ぶ会 in 原村」宛

*切り取らずにFAXしていただいて結構です。

2008:サマ セミナ 参加費 (宿泊費・交通費は含まれておりません。)

コースA: 7/26	13:00-17:30	社会人・一般対象	講演	1,000円
コースB: 7/26	19:00-22:00	社会人・一般対象	懇談会・ピアノコンサート	1,000円
コースC: 7/27	6:30-12:00	社会人・一般対象	「八ヶ岳の自然を歩く」	500円

2008:サマ セミナ 参加申込書

*参加をご希望のコースにいくつでも○印を付してください。

住所	氏名	参加コース	性別・年齢	連絡先TEL
〒		A・B・C	男女 才	
〒		A・B・C	男女 才	
〒		A・B・C	男女 才	

お申し込み先: FAX 0266-74-2343 「生命科学を学ぶ会 in 原村」 事務局宛

なお、TEL: 0266-74-2345 又は E-mail: omoidep@po10.cv.ne.jp にて、お申し込みいただいても結構です。